



No.62  
2012.12.20

# SFA NEWS



- ① … 高校選手権の代表は初優勝を果たした正智深谷！・SFA NEWS リニューアル
- ② … 新座片山FC、全日本少年サッカー大会優勝～川原嘉雄総監督に聞く～
- ③ … 永井良和氏日本サッカー殿堂入り・横山副会長文部科学省から表彰・相川宗一会長旭日中綬章を授与  
大会記録●県内大会 2種高校
- ④ … 大会記録●県内大会 3種中体連・3種・4種少年連盟
- ⑤ … 大会記録●県内大会 女子・シニア・フットサル 大会記録●県外大会 1種大学
- ⑥ … 大会記録●県外大会 1種大学・2種・3種・女子
- ⑦ … 大会記録●県外大会 女子・シニア・フットサル
- ⑧ … インフォメーション・編集後記

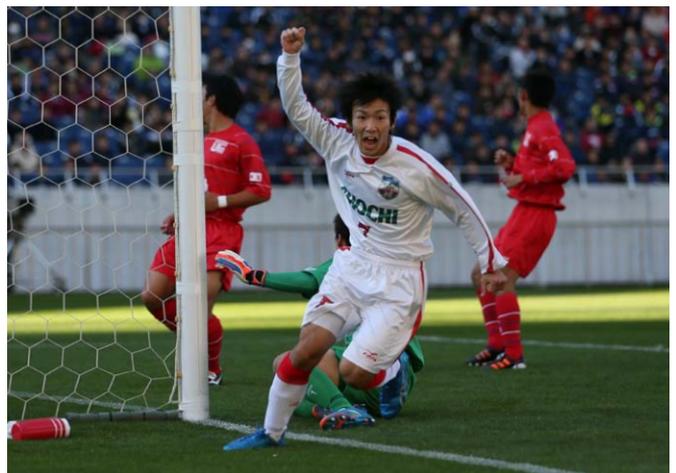
●発行/発行人:会長・相川宗一 編集人:荒川裕治 ●発行所/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ首ビル204号室 Tel048-834-2002-Fax048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 高校選手権の代表は、初優勝を果たした正智深谷！

11月18日、埼玉スタジアムにおいて、平成24年度第91回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会の決勝が開催された。決勝は正智深谷高校と前年度の覇者である浦和東高校の対戦となった。試合は前半16分に石橋の得点で先制するも、後半24分に眞方のロングシュートが決まり、延長に入った。しかし、それでも決着せずにPK戦に突入し、全員が決めた正智深谷が5対4で代表権を獲得した。(記録ページ参照)

大会規定により両チームが優勝。正智深谷は悲願の初優勝、浦和東は2年連続6度目の優勝となった。

本大会の1回戦(12月31日 @埼玉スタ 12:05～)、正智深谷は京都橘と対戦する。全力を尽くして、2回戦以降、更には国立を目指してほしい。



正智深谷高校

### SFA NEWS、リニューアルしました！

広報委員長 荒川 裕治

この62号から、SFA NEWSはWEB上での発行となり、隔月発行(8ページ)に生まれ変わりました。よりタイムリーに結果及びレポート、インタビューなどを掲載し、埼玉のサッカーの発展に寄与していきたいと思っています。

そこでこのWEB化を機会に、メンバー及び県民の皆さんに向けてのメール配信サービスを25年度より開始致します。これまでのSFA NEWSはJFA及びSFAに登録しているチームと審判3級以上の皆さんに送付してきました。これに変わるものとして、SFA NEWSの発行をメールでお知らせすることとしました。公式ウェブサイトにてSFA NEWSをアップした日に、予め登録されているメールアドレスにメールを送信致します。メールを受け取られましたら、公式ウェブサイトにてアクセスし、SFA NEWSを見いただけますよう、お願い致します。

基本的な対象は登録チーム、審判登録されている皆さん、

指導者資格登録をされている皆さん、そして役員の皆さんです。これらの皆さんには、Kick Offに登録されているそれぞれのメールアドレスに送付することになりますので、前もっての登録などは必要ありません。

しかし登録されていない、県民の皆さんにつきましては、公式ウェブサイト上から登録をしていただき、その都度送付させていただきます。サッカーに興味・関心を持っている皆さんはぜひ登録をお願い致します(来年2月より登録開始予定)。

また、講習会などのお知らせにつきましても、公式ウェブサイト上はもちろんのこと、このメール配信サービスを通じても行っていきたいと考えています。もっと皆さんと近くなることで、よりよい埼玉サッカーの発展を目指していきたいと考えております。今後とも、(公財)埼玉県サッカー協会をよろしくお願ひ致します。

# 新座片山FC、全日本少年サッカー大会優勝

～川原嘉雄総監督に聞く～

新座片山FC少年団が「第36回全日本少年サッカー大会」で2度目の優勝を果たした。大変遅くなったが、川原嘉雄総監督に話を伺った。

## 普通の子をがんばらせているだけ

— 16年振りの優勝、おめでとうございます。

「ありがとうございます。関係者の皆さんに感謝したいと思います。

実は、この大会が8人制となったことで試行錯誤してきました。やはり11人制とは違うんですね。JFAとしてはもっと子どもたちにボールを持たせられるようになど言って8人制を推奨していますが、試合になると全く違うのです。横山さん(副会長)は『サッカーは11人制だ』とおっしゃって、4種リーグを11人制でやっていますが、その通りです。8人制はトレーニングとしてはいいのですが、やはり違うものです。

あと言いたいのは、4種年代ではさらに底辺を広げたいじゃないですか。それなのに8人制の大会にしてしまうと、選ばれた子どもたちしかピッチに送り出せません。太った子でも小さい子でも、11人制だったら、みんなでフォローすることができます。しかし、8人制で誰かをフォロー、サポートすることは難しい。だから、JFAのこのやり方は“強化”ですよね」

— そこに矛盾を感じるということですね。

「この年代で観ても、子どもたちの伸びしろはわからないわけです。私としてはもっとサッカー好きになってもらいたいです。この年代で試合に出られない子どもたちはやる気を無くしてしまいます。

ただ我々としては、勝つための努力はしたい。そこを考えると、11人制の中で子どもたちがお互いをフォローしあえると、チームワークもできるんです。多分、JFAとしてはうちが勝ったことを面白く思っていないでしょう(苦笑)。

うちはセレクションをしていません。幼稚園から育てた子どもたちです。Jクラブはうちのエースが11人集まる環境にあります。うちからJクラブに行ける子どもは一人くらいでしょう。“普通の子”をがんばらせているだけなんです。Jの子どもたちも、うちの子どもたちも同じ六年生で12歳。だから『がんばろう』『あきめない』『お前が持っているものを出そうよ』と指導しています。ロングスローが投げられるのも、その子のいいところです。ドリブルが得意な子、ボールを怖がらない子……いいところを出してくれればいいんです。

あとJFAは『ボールを浮かすな』と言うのですが、思うに浮き球の処理ほど難しいものはないじゃないですか。Jクラブの子

どもたちは人工芝で、うちは土の上です。ハングリーさは違います。そこで努力と工夫をしていくのです」

## やりたいのは 最初から最後までフルパワーのサッカー

— Jクラブといえば、準決勝でグランパスに、決勝でレイソルに勝っての優勝でした。

「両方も、うちを知らなかったことが勝因です。やはり1年の中で一度対戦すると、対応されてしまいますからね。だから、県予選のほうが辛かったです。県内には実力のあるチームが多く、今年はずっと負けていました。不思議と運があって突破できたと思っています。子どもたちには奢るな、自分たちは強くないんだ、と言っています。しかし、日本一になってしまうと、慢心してしまうものです。

ただ、自分たちがやっているサッカーは邪道であり、ゲリラサッカー。次、また試合をしたら勝てないかな(苦笑)。でも、諦めないでしょうね。8人制だとしても、DFラインで回すのですが、そこにプレッシャーをかけるのはうちだけでしたからね。

やりたいのは、最初から最後までフルパワーのサッカー。最後は立てない、動けないくらいのサッカーです。思うのですが、楽なサッカーを覚えると、それをずっとやってしまうのです。また、ファールを受けて自分たちの状況を有利にすることも教えていません。ファールされても倒れるのは許しませんし、シミュレーションなんて絶対に許せない。倒れながらもシュートを打つことを誉めたいと思っています」

— 全力でプレーすることが、モットーということですね。これからは躍進されることを期待しております。最後に埼玉の現状について、何か思われることがあればお聞かせください。

「4種リーグができたことに、本当に感謝しています。これこそが底辺を広げるやり方だと思います。年間を通じて、誰でもできる。我々としては最高の公式大会です。また得失点をなしにしたことで、全員が試合に出ることが出来ます。また日程も当該チームで調整ができる。まだ参加チームが7割ちょっとですか。もっと多くのチームが参加することを期待しています」

— ありがとうございました。



## ●永井良和氏が日本サッカー殿堂入り

9月10日、永井良和氏【浦和市（現、さいたま市）出身】を含む四人の掲額式典が行われました。現在、アブレイズ千葉 SC の総監督である永井氏は、（当時浦和市長）大原中から浦和南高校に進学。スピードあるFWとしてチームを高校総体、高校選手権、国体の3連覇に導き、マンガ「赤き血のイレブン」の主人公玉井真吾のモデルとなりました。卒業後はJSLの古河電工でプレーし、272試合63得点に出場。これはJSL 出場試合数歴代1位です。日本代表としても69試合に出場し、9得点を挙げています。



指導者としては、日本ユース（U-18）代表監督、ジェフ市原の初代監督、さらに福島FC（当時日JFL）、アルビレックス新潟、横浜FCの監督を歴任。2006年から2年間は浦和レッズレディースの監督も務めて、現職。

これにより、埼玉県関係者の殿堂入りは5人目。おめでとうございます。

「ホント、よかったなあという一言です。オリンピックにもワールドカップにも行っていないのに殿堂入りさせていただけたことは、名誉なことです。」

私の頃はワールドカップというのはプロが行くところで、もっと上という認識がありました。だからまずはオリンピックに出たかったです。メキシコ五輪での釜本さん、杉山さん、横山さんを観て、あの舞台に立ちたいという思いでした。結果的に3回予選を戦いましたが（ミュンヘン、モントリオール、モスクワ）、ダメでした。今みたいにホーム＆アウェイではなく、セントラル方式でしたから全部アウェイでした。指導者としてもポルトガルでのワールドユース（90年）を目指しましたが、アジアの最終予選で韓国に0対1で敗れましたしね。

ここまでやって来られたのは、自分が浦和出身だということ

した。潰れたらいいかん、申し訳ないという思いでここまで来ました。常に謙虚にという思いと、今の『潰れたらいいかん』というブレッシャー——今でも続いています、これがあって今に至っていると思います。

現在はフクダ電子スクエアで『永井良和サッカー学校』をやっている、アブレイズ千葉 SC の総監督も務めています。ジェフのトップの選手たちが練習をしているすぐそばでトレーニングができていますから、最高の環境だと思っています。

一度、レッズレディースの監督をさせていただいたのは、いい思い出です。今回殿堂入りができ、埼玉のサッカーを応援してくれた人、皆さんに感謝します。今後も恥ずかしくないようサッカーに関わっていきたくと思っています。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

## ●横山副会長が文部科学省から表彰される

10月5日、文部科学省より「平成24年度生涯スポーツ功労者」として、横山謙三副会長が表彰されました。これは、地域または職場におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者として、（公財）日本体育協会から推薦されてのことです。日本初の4種リーグの設立、大学生によるインターンシップなどの業績が評価されました。関係者の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

## ●相川宗一会長、旭日中綬章を授与

この秋の叙勲において、相川宗一 SFA 会長が旭日中綬章を授与されました。埼玉県議を10年、旧浦和市長を10年、そしてさいたま市長を8年務めたことが評価されました。これは SFA としても、大変名誉なことであり、皆さんと一緒に喜びたいと思います。引き続き、ご活躍をご祈念致します。

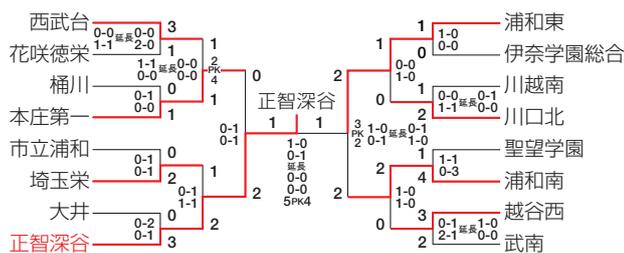


## 大会記録 ● 県内大会

### 2種・高校

#### 平成24年度全国高等学校サッカー選手権大会 兼 埼玉県高校選手権 2次予選 決勝トーナメント

10月28日～11月18日 埼玉スタジアム2002ほか



※正智深谷高校が初優勝。浦和東は2年連続6回目の優勝。埼玉県代表として正智深谷高校が本大会に出場する。



埼玉県高校選手権 決勝 正智深谷 vs 浦和東

### ●2012 高校選手権大会埼玉県大会総評

県高体連サッカー専門部技術委員 武田 直樹

平成24年度第91回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会が、8月下旬の一次予選を勝ち上がった16チームおよび、埼玉県高校総体県予選ベスト8の8チームをあわせた合計24チームにより行われた。10月6、8、13日にリーグ戦（4校×6ブロック）を行い、リーグ戦上位16チームによるトーナメント方式で争われ、正智深谷（初）、浦和東（2年連続6回目）の両校優勝となった。3位に本庄第一、浦和南という結果に終わった。全国大会へは代表決定PK戦の末、正智深谷が初代表を決めた。大会期間中リーグ戦に小雨が降った程度で、トーナメント戦決勝まで選手にとっては秋晴れの中、プレーしやすい天候で、普段のトレーニングの成果が試合にしっかりと出せたのではないかと感じた。リーグ戦からの試合について総評として以下にまとめた。

4校によるリーグ戦では、上位チームはトーナメント戦に向けての順位獲得、また3位争いをするチームにおいても6チーム中4チームが決勝トーナメントへ出場できるとあり、最終節の最後まで気の抜けない緊張感のある試合展開が続き、見る者にとっても勝利へ向けて一生懸命にゴールを目指す、高校生らしい気持ちのよい試合を見ることができた。技術・戦術的には、日々トレーニングを積んできた各チームの特長をいかした試合内容が展開されていた。

トーナメント戦においては、各チームの理想とするサッカーはあるものの、一発勝負ということで、スカウティングや経験の差など、相手に力があると判断したときには、時間や、手間をかけずに前線へ「蹴り」、球際勝負のワンチャンスを狙うか、セカンドボールを狙い、少しでも長く相手コートで試合を進めたり、セットプレーでチャンスをつくりだそうとするゲームプランを展開するチームが多く見られた。結果的にこれらのチームが勝利をおさた。

当然「勝利」するための最善のゲームプラン（判断）ではあるのだが、選手が進む次のステージでのサッカーを考えると、個々がピッチ内で状況を把握し、ベストな選択肢を判断することで、それがチームとして攻守に勝負を繰り広げてほしいと感じた。そういった意味では、まだまだ

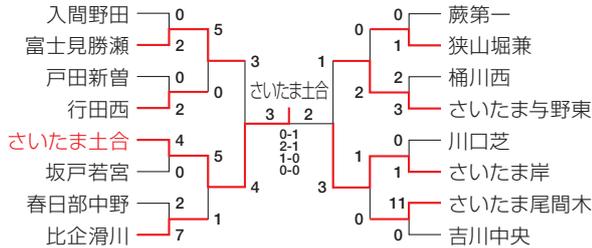
埼玉のサッカーには伸びしろがあるようにも感じる。また今大会では、特徴ある選手が少ないようにも感じた。「速い」「上手い」「ヘディングが強い」などといったイメージを浮かべた時に、すぐに選手の名前が挙がってこない。その中で、正智深谷には、名前の挙がる選手が他の高校よりも多く、代表権を獲得したことも納得できてしまう。全国大会においても、その特徴をいかし、埼玉県代表として勝利を追求し、勝負においても、質においてもこだわりをもって大会に臨んでほしいと願う。

最後に、全国高校総体に出場した西武台が準決勝で本庄第一に延長PK戦の末敗退。同大会準優勝の武南が、ラウンド16で越谷西に延長戦の末敗退した。個々の能力、経験という点では勝っていたものの早々に姿を消してしまったのは残念でならない。特に、両チームは、個人技術・戦術、チーム戦術と、ゲームをつくりながら状況に合わせた試合展開を進められるチームだけに、決勝戦での両校の対決が見てみたかった。今年のチームには2年生も多く、新チームにおいて切磋琢磨し、これからも埼玉のサッカーをリードすると共に全国での活躍を期待したい。

### 3種・中体連

#### 平成24年度 埼玉県中学校新人体育大会

11月2日～11月18日 埼玉スタジアム2002ほか



※さいたま市立土合中学校が優勝。



決勝 さいたま市立土合 vs さいたま岸



### 3種

#### 2012年第1回埼玉県ユース(U-13)サッカーリーグ

●全日程終了

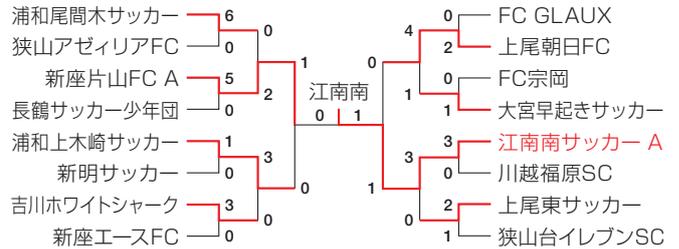
順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	フェスタ	5	1	1	12	5	+7	16
2	コルージャ	4	1	2	12	6	+6	13
3	FC深谷	4	1	2	13	9	+4	13
4	アレグレ	4	0	3	11	6	+5	12
5	成立ゼブラ	3	1	3	10	8	+2	10
6	HAN	3	1	3	12	12	±0	10
7	草加Jr	1	1	5	7	15	-8	4
8	カムイJr	1	0	6	4	20	-16	3

※フェスタが来年のコスモポリタン2部に昇格。

### 4種・少年連盟

#### 第41回埼玉県サッカー少年団中央大会

11月4日～18日 埼玉スタジアム第2グラウンドほか



※江南南Aは2年ぶり11回目の優勝。



決勝 江南南サッカーA vs 新座片山FCA



準決勝 江南南サッカーA vs 上尾朝日FC



準決勝 新座片山FCA vs 浦和上木崎サッカー



### 平成24年度 第45回関東大学サッカー大会

11月4日～25日 神奈川県立保土ヶ谷サッカー場ほか

#### ●予選リーグ

Aブロック	産業能率大学	東京農業大学	中央学院大学
1位 尚美学園大学	2〇1	2△2	7〇4

Bブロック	作新学院大学	立教大学	明治学院大学
2位 東京国際大学	1〇0	1〇0	1△1

#### ●参入決定戦 尚美学園大学 1-2 東京国際大学

※東京国際大学は初めての関東大学2部昇格を果たした。



参入決定戦 東京国際大学 vs 尚美学園大学



東京国際大学

#### 2種

### 高円宮杯U-18サッカーリーグ2012 プレミアリーグ EAST

#### ●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	ヴェルディ	14	4	0	49	13	+36	46
2	コンサドーレ	9	3	6	38	21	+17	30
3	流経大付柏	8	6	4	28	18	+10	30
4	青森山田	8	4	6	35	25	+10	28
5	エスパルス	7	5	6	37	32	+5	26
6	静岡学園	6	5	7	28	37	-9	23
7	アントラーズ	6	5	7	22	31	-9	23
8	三菱養和	4	8	6	14	22	-8	20
9	浦和レッズ	4	7	7	36	41	-5	19
10	旭川実業	0	1	17	8	55	-47	1

### 高円宮杯U-18サッカーリーグ2012 プリンスリーグ 2部

#### ●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	横浜FCユース	10	6	2	39	12	+27	36
2	八千代高校	11	3	4	49	30	+19	36

3	大宮アルディージャユース	10	5	3	42	13	+29	35
4	関東第一高校	9	6	3	37	19	+18	33
5	鹿島学園高校	7	8	3	31	21	+10	29
6	佐野日本大学高校	8	5	5	26	24	+2	29
7	柏日体高校	5	6	7	22	32	-10	21
8	成立学園高校	4	5	9	29	29	±0	17
9	湘南ベルマーレユース	2	2	14	27	59	-32	8
10	第一学院高校	1	0	17	9	72	-63	3

### 平成24年度第16回 KCYリーグ

6月17日～11月4日

#### ●1次リーグ グループA

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	ACフツーク	15	5	0	0

#### ●2次リーグ グループA

順位	チーム	勝点	勝	分	負
6	ACフツーク	1	0	1	4

※決勝トーナメントの優勝は横河武蔵野FC。Jリーグカップに出場する。

#### 3種

### 高円宮杯第24回全日本ユース(U-15)サッカー選手権関東大会

11月10日～18日

#### ●Aブロック

1回戦	クマガヤSC	2-0	三井千葉SC
	鹿島アントラーズJY	4-1	FC KASUKABE
	HAN FC	4-0	WINGS U-15
2回戦	クマガヤSC	6-1	前橋FC
	鹿島アントラーズJY	3-2	HAN FC
準決勝	鹿島アントラーズノルテ	0-1	クマガヤSC
決定戦	クマガヤSC	0-0	FC東京U-15 深川 (4PK1)

#### ●Cブロック

1回戦	浦和レッズJY	2-1	前橋JY
	成立ゼブラFC	1-4	GRANDE FC
	プレジールSC入間	0-2	ヴェルディSS小山
	FC深谷	1-2	ジェフ市原・千葉U-15
2回戦	浦和レッズJY	2-1	横河武蔵野FC
	湘南ベルマーレJY	2-1	GRANDE FC
準決勝	浦和レッズJY	4-0	湘南ベルマーレJY
決定戦	浦和レッズJY	0-1	ジェフ市原・千葉U-15

※Aブロックで優勝したクマガヤSCは、関東リーグ1部1位の大宮アルディージャと共に本大会に出場する

#### 女子

### プレナスなでしこリーグ2012

#### ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	INAC神戸	52	17	1	0
2	日テレベレーザ	37	11	4	3
3	岡山湯郷Belle	32	10	2	6
4	浦和レッズレディース	28	8	4	6
5	アルビレックス新潟	23	6	5	7
6	ジェフ市原・千葉	22	6	4	8
7	伊賀FCくの一	21	5	6	7
8	スベラザ大阪高槻	16	4	4	10
9	ASエルフェン狭山	11	3	2	13
10	福岡J・アンクラス	10	2	4	12

※優勝はINAC神戸。2年連続2度目。

### 2012 なでしこリーグ&チャレンジリーグ入替戦

11月17日、23日 熊谷スポーツ文化公園ほか

第1戦 FC高梁吉備国際大学Charme 1-0 ASエルフェン狭山

第2戦 ASエルフェン狭山 2-3 FC高梁吉備国際大学Charme

※ASエルフェン狭山はチャレンジリーグへ降格する。

プレナスなでしこリーグカップ2012 powered by クリクラ  
グループA

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	INAC神戸	12	4	0	0
2	アルビレックス新潟	9	3	0	1
3	浦和レッズレディース	4	1	1	2
4	ジェフ市原・千葉	4	1	1	2
5	福岡J・アンクラス	0	0	0	4

グループB

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	日テレベレーザ	12	4	0	0
2	伊賀FCくの一	9	3	0	1
3	岡山湯郷Belle	6	2	0	2
4	ASエルフェン狭山	3	1	0	3
5	スペランザ大阪高槻	0	0	0	4

※優勝は日テレベレーザ

第26回関東大学女子サッカーリーグ

●1部

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	早稲田大学	25	8	1	0
2	日本体育大学	20	6	2	1
3	関東学園大学	18	6	0	3
4	武蔵丘短期大学	16	5	1	3
5	尚美学園大学	11	3	2	4
6	神奈川大学	10	3	1	4
7	筑波大学	9	2	2	5
8	国土館大学	9	3	0	6
9	大東文化大学	9	2	3	4
10	慶応義塾大学	1	0	1	8

●2部A

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	山梨大学	21	7	0	0
2	日本女子体育大学	18	6	0	1
3	東京情報大学	15	5	0	2
4	東海大学	12	4	0	3
5	茨城大学	7	2	1	4
6	東京外国語大学	4	1	1	5
7	埼玉大学	3	0	3	4
8	十文字学園女子大学	1	0	1	7

●2部B

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	東京国際大学	21	7	0	0
2	順天堂大学	18	6	0	1
3	東京女子体育大学	15	5	0	2
4	東京学芸大学	10	3	1	3
5	文教大学	9	3	0	4
6	千葉大学	7	2	1	4
7	帝京大学	3	1	0	6
8	創価女子短期大学	0	0	0	7

第16回関東女子ユースサッカー選手権大会 兼  
第16回全日本女子ユースサッカー選手権大会関東予選

10月20日～11月3日 鴨川市陸上競技場ほか

- 1回戦 日テレ・メニーナ 5-0 エルフェン狭山マリ  
AAC高崎ホワイトスター 2-19 浦和レッズレディースユース  
2回戦 浦和レッズレディースユース 3-2 横須賀シーガルズSC

準決勝 浦和レッズレディースユース 8-0 KASHIMA-LSC

決勝 ジェフ市原・千葉レディースU-18 1-2 浦和レッズレディースユース  
(延長)

※優勝した浦和レッズレディースユースを含む4チームが本大会に出場する。

第25回関東少女サッカー大会

11月17、18日 ひたちなか市笠松運動公園球技場

●予選リーグ

Bグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	千葉中央FC	6	2	0	0
2	パディFC	3	1	0	1
3	東大宮エンジェルス	0	0	0	2

Cグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	戸木南ボンパーズFC	4	1	1	0
2	南大沢FC	4	1	1	0
3	ザスパ草津レディース	0	0	0	2

※得失点差で戸木南ボンパーズが1位。

●9～12位トーナメント

エスペランサ 0-3 東大宮エンジェルス

東大宮エンジェルス 3-0 ザスパ草津レディース

※東大宮エンジェルスは9位。

●優勝～4位決定トーナメント

戸木南ボンパーズFC 3-0 FCすすき野レディース

横浜ウインズ 2-1 戸木南ボンパーズFC

※優勝は横浜ウインズ。戸木南ボンパーズFCは準優勝。

シニア

第13回全国シニア関東予選大会(Over 60)

12月1、2日 市原スポレクパーク

A組

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	埼玉シニア60	9	3	0	0
2	AC千葉	6	2	0	1
3	茨城シニア60	3	1	0	2
4	栃木大昭SC	0	0	0	3

決勝 埼玉 2-1 東京

※上位3チームが2013年全国シニアO-60に出場する。

第3回全国シニアフェスティバルO-70

12月1、2日 市原スポレクパーク

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	東京ロイヤル	10	3	1	0
2	埼玉シニア70	10	3	1	0
3	神奈川70	6	2	0	2
4	AC千葉	3	1	0	3
5	茨城シニア70	0	0	0	4

※埼玉シニア70は3勝1分で2位。関東代表として本大会に出場します。

フットサル

第18回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月23、24日 千葉ポートアリーナ

●1次ラウンド・グループD

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	FUN Jrユース	4	1	1	0
2	malva mio fc U-15	3	1	0	1
3	AN.FORTE FC	1	0	1	1

※優勝はカナリーニョFC(千葉県)

第3回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月23、24日 千葉ポートアリーナ

1回戦 ザスパ草津レディース 2-4 SEフィリアFC

準決勝 SEフィリアFC 1-3 十文字中学校

※優勝は十文字中学校(東京都)

## インフォメーション

### ●表彰

☆ AFC アニュアルアワード2012

年間最優秀ユースプレーヤー(女子)

柴田 華絵 (ヤングなでしこU-20日本女子代表) /  
浦和レッズレディース)

☆ プレナスなでしこリーグ2012 表彰

新人賞 高畑 志帆 (浦和レッズレディース)

ベストイレブン 矢野 喬子 (浦和レッズレディース) (6回目)

皆さん、おめでとうございます!

### ●第3回運営会議開催

11月18日、埼玉スタジアム・ボールルームにおいて、運営会議が開催された。主な議案としては、種別ごとで分かれる大会要項について。SFAより、不備・トラブルを回避すべく、要項だけでなくマッチミーティングなどの開催なども提案した。他には功労賞の選出依頼、25年度の予算編成スケジュールの確認などが行われた。

### ● JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル2012ユニクロサッカーキッズ! in 西武ドーム開催

11月18日、西武ドームにおいて今年2回目のキッズフェスティバルを開催しました。全県下から午前と午後に分かれて94チーム、1,260人もの子どもたちが参加してくれました。西武ドームという大きな施設の中で小さな子どもたちが一生懸命にボールを追いかけてくれていたのが印象的でした。保護者の皆さん、役員の皆さん、お疲れ様でした。



### ●「2012年度SMCサテライト講座・SFA特別共同講座」の受講生を募集中

今年度もSMC(スポーツマネジャーズカレッジ)サテライト講座・SFA特別共同講座を開催します。

日 程 : 2月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、  
16日(土)、17日(日)、3月3日(日)

(基本的に夜の開催で、3月3日だけは財務講座ですので、1日集中講座となります)

## 編集後記

●今年度はW杯予選が3試合、U-20女子W杯8試合、タイトルのかかった国際試合が例年になく多かったですね。世界が平和でないと国際試合はつらいですね。(坂庭)

●10月末に風邪をひき、喉痛、熱、咳、鼻水……と、治るまでに1ヶ月もかかりました(T.T)今年の風邪は長引くようです、皆さんお気を付けくださいませ。(こいち)

●気付けば12月になり、今年も残りわずか

かに……。今までもいろいろな方に支えられ、助けて頂いていましたが、その事をより感じられた1年のような気がします。ありがとうございました!(かのう)

●今年の12月は今までにない事業(大会)の密度です。運営に携わっていただける皆さん、そして自分、もうひと踏ん張りです。(小豆澤)

●この前2012年になったかと思ったら2013年がもうすぐです。1年過ぎるのが

場 所 : 北浦和カルタスホール会議室

受 講 料 : 38,000円

定 員 : 30名程度

締め切り : 1月15日(火)

詳細及び申込書につきましては、

<http://www.saitamafa.or.jp/committee/1870/> まで。

自立した魅力あるスポーツ組織づくりに必要な明確なビジョンを描く力、スポーツ組織の運営に必要なマネジメントの基本的な力を身につけることができます。サッカーだけでなく、他の種目の方々にもお勧めです。

なお、今年度から新しく「コミュニティデザイン」の講義が加わりました。

### ●第6回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会開催中

12月23日(日)は埼玉スタジアムにおいて、第6回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会の準決勝と決勝が開催されます。

主なイベントとタイムスケジュールは次の通り。

9時00分 ミニサッカーゲーム  
@第4グラウンド(～12時20分)

9時15分 東北3県招待試合  
@メインピッチ(～11時20分)

9時30分 準決勝  
@第2、第3グラウンド

10時45分 キッズエリートマッチU-10  
@第2、第3グラウンド(～12時45分)

13時00分 決勝戦  
@メインピッチ

チャリティー豚汁販売や4種リーグ写真展も開催されています。また当日の決勝はNHK-FM(さいたま85.1MHz、秩父83.5MHz)で生放送されます(12時45分から)。テレ玉では12月30日(日)14時から録画放送されます。こちらも、よろしくお願いします。

### ●第34回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会開催

今年「皇后杯」が拝受されたことから、全日本女子サッカー選手権大会が「皇后杯全日本女子サッカー選手権大会」となりました。準決勝と決勝がNACK5スタジアム大宮で開催されます。ぜひ、ご覧ください。

準決勝 12月22日(土) 11時～、14時～

決 勝 12月24日(月・祝) 14時05分～

※ チケットに関しては、

<http://www.jfa.or.jp/match/topics/2012/118.html>  
を参照ください。

### ●お詫び

前号で紹介した「第17回首都圏少女サッカー交流大会」の結果ですが、

準決勝(誤)埼玉県女子U-12トレセン 3-1 神奈川県少女選抜  
(正)埼玉県女子U-12トレセン 3-1 群馬県選抜

です。関係者の皆様にご迷惑をおかけしました。お詫びいたします。

早いですね。2013年も宜しくお願い致します!(佐々木)

●前号から発行間隔がほとんどないのに、記録のページが大変なことになってしまいました。本格的なりニューアル次号からとってください。もう少しバランスよく、舞う少し読み物も入れて発行したいと思います。ご意見、ご感想、お待ちしております。(荒川)